

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校72.0%, 県73.6%)

対県比 97.8%

学力定着実態調査 本年度正答率

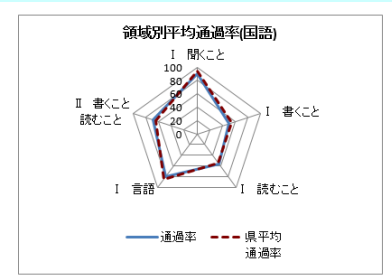
本校66.7%
全国66.8%

対全国比 99.9%

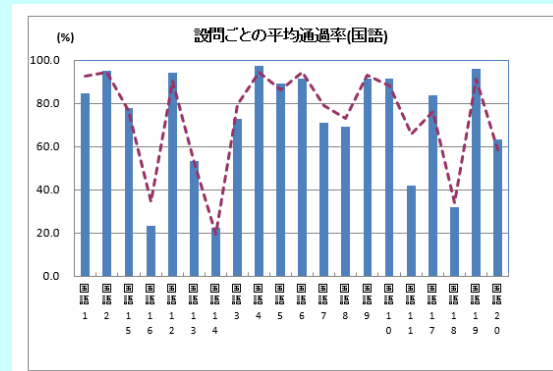
本年度の結果について

○全体的な傾向について
国語の結果について、タイプIは72.8%、タイプIIは68.6%であった。文法(特に主述の関係)を正しく理解できていない部分があり、正確な表現ができていない生徒が目立った。
○昨年度の課題への取組の成果・課題
昨年度の課題「要旨の把握」「情報の取り出し・伝えたい事実を明確にした記述」は通過率大幅に上がった。一方で、読むことの「登場人物の心情の把握」が文章に基づいて行えていない。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校76.7%
全国75.8%
県 76.5%

B問題

本校70.7%
全国65.8%
県 67.0%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

100%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

登場人物の心情の把握ができていない。
(通過率22.2%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

単語の類別についての理解ができていない。(通過率26.1%)
語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使えていない。(通過率45.2%)
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。(通過率24.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

小説(物語文)の学習において、文章中の表現を根拠にしなが登場人物の心情の変化を捉えていく活動を取り入れる。景色の描写などの抽象化された表現にも注目させ、感情を表す適切な語句を用いて登場人物の心情を説明させる。

【課題2】全国学力・学習状況調査

品詞分類・品詞の働きについて理解させる。
ことばの意味が分からなかったため、問題に対応できなかったと考えられる。辞書引きや読書など言語に触れさせる活動や音読活動に取り組む。
資料を適切に読ませる力を育成するとともに、読み取ったことを整理して自分の考えを記述させる活動を行う。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 期末テスト		2年生 H27年度「基礎・基本」	
目標値				60.0%		74.0%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 期末テスト	3年生 学年末テスト		
目標値				65.0%	65.0%		
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校68.8%, 県70.4%)

対県比 97.7%

学力定着実態調査 本年度正答率
 本校61.8% 対全国比 88.5%
 全国69.8%

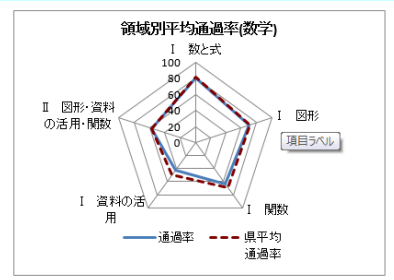
本年度の結果について

○全体的な傾向について
 全国学力学習状況調査から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えが、正しい記述を選択する問題について課題がみられる。数学的な表現やそれを正しく読み取ることに対して、定着が図られていない。

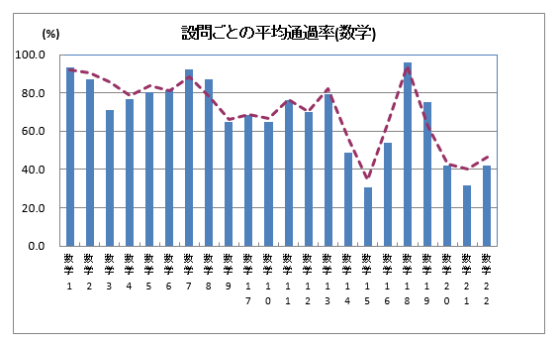
全国学力・学習状況調査 本年度正答率
A問題 本校65.1% 全国64.4% 県 64.6%
B問題 本校44.6% 全国41.6% 県 42.7%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値 対全国比 100%

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
 表から中央値(メジアン)を求める問題に課題がある。表にあるシュートの入った本数(0から10)の真ん中である5をかいた生徒が23.1%。(通過率30.8%)
- 【課題2】全国学力・学習状況調査
 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選択する問題に課題がある(通過率16.5%)。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
 中央値(メジアン)とは、階級の中央の値ではなく、資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値であることを、色々な表を使って確認し、練習させ理解させる。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査
 2つの直線がどのように交わっても「対頂角は等しい」ことを証明する際、証明の一般性について着目できていない生徒が多い。論証では、その一般性について考えさせながら、仮定と結論を明確にして証明させるよう指導していく。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習テスト			2年生復習テスト		2年生復習テスト	1年生学期末テスト
目標値	50.0%			60.0%		70.0%	70.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生期末テスト	3年生学年末テスト		
目標値				65.0%	65.0%		
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校47.6%, 県50.2%)

対県比 94.8%

学力定着実態調査 本年度正答率

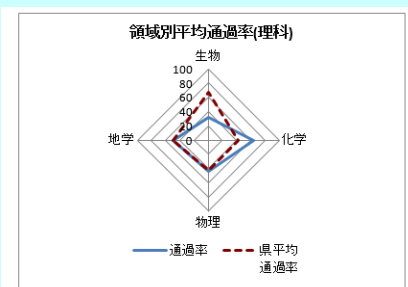
本校60.6%
全国66.0%

対全国比 91.8%

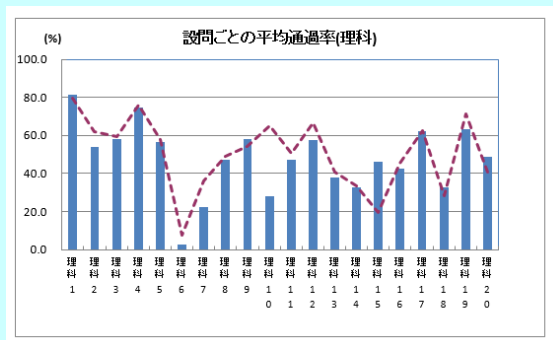
本年度の結果について

○全体的な傾向について
 ・理科の結果において、タイプIは44.8%
 タイプIIは51.8%の通過率となっている。
 この結果から昨年度と同様に基礎的・基本的な
 内容の定着に課題があると考えられる。特に生
 物分野の植物の特徴や顕微鏡の使い方に大きな
 課題がみられた。
 ・昨年度の課題であった地学分野の問題につい
 ては、観察実験の成果として正答率が上昇した。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校54.2%
全国53.0%
県 52.2%

B問題

本校 %
全国 %
県 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

・裸子植物と被子植物の花のつくりの違いについて理解している。(通過率2.6%)
 子房の有無については多くの生徒が理解しているが、花卉やがくについては授業でも
 深く触れていない。

【課題2】全国学力・学習状況調査

・上昇気流と気圧、断熱膨張についての基礎知識の定着が不十分であり、この3
 つについての連動した思考ができるまでに至っていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

・観察実験において、実験器具の数や操作の難しさの関係で演示実験や説明だけで授業を進めている内容が多い
 ため、定着率が低いと考えられるため、ポイントを絞った観察を指導することで改善を図る。

【課題2】全国学力・学習状況調査

・基本的な用語の理解を深めるため、用語の説明に止めず、用語を使った発表やワークシートへの記入
 をする機会を必ず設定し、理解を深める。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 期末テスト		1・2年生 学年末テスト	
目標値				70.0%		70.0%	
実施後数値							

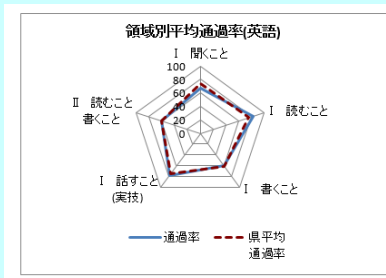
全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 期末テスト		3年生 学年末テスト	
目標値				70.0%		70.0%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校68.6%, 県68.2%)

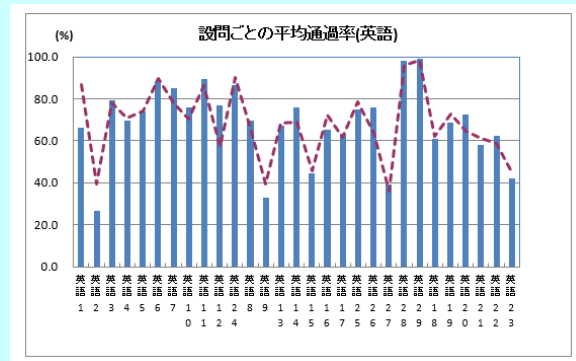
対県比 100.9%

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について
英語の結果において、タイプⅠは70.6%、タイプⅡは60.7%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容についてはおおむね定着が図られていると考えられるが、それを活用した応用問題の定着があまり図られていないと考える。

○昨年度の課題への取り組みの成果
昨年度は英文や資料から適切な情報を読み取ることに課題が見られたので、文章読解の際に、内容を表やグラフ、絵にしたものと対応させてQ&Aを行う活動に力を入れた結果、「情報を基にした概要や要点の理解」の通過率が60.7%に上昇した。

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
英語での問いかけに対する適切な応答を理解している。(通過率26.8%)
canの許可を得る際の用法について理解できていない。

【課題1】
・助動詞を用いて相手に許可を取ったり、依頼をしたり、それに対して応えたりするペア活動を帯活動で仕組む。
・まとまった量の英語を聞いたり、読んだりする活動を仕組み、その際に要点をメモにまとめ、ペアで共有しあうなど、正しく内容を把握する指導をおこなう。

【課題2】

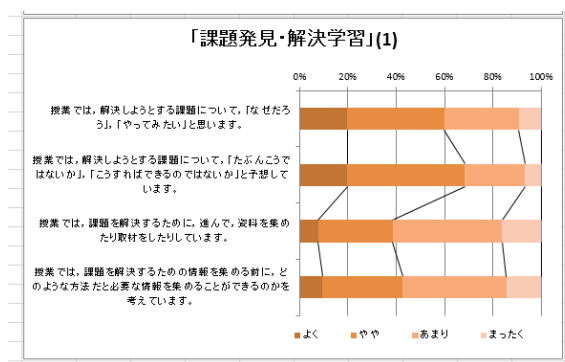
【課題2】

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 期末テスト			1・2年生 学年末テスト
目標値				55%			65%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法							
目標値							
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

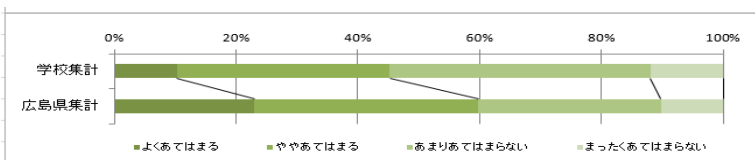
(1) 生活・学習



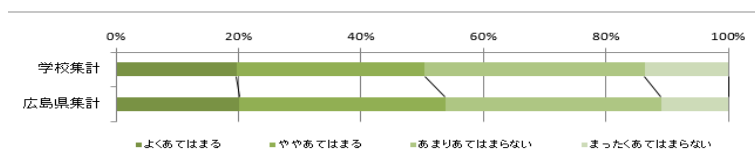
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりする生徒の割合が低い。（肯定的回答 38.5%）。	・授業の中で実際に資料を集め、資料に基づいて自分の考えを吟味する活動を増やすことで、情報収集・活用能力を育成するとともに、資料の有用性を実感させたりする。	1年・2年	70%	アンケート	学期末		

(2) 教科

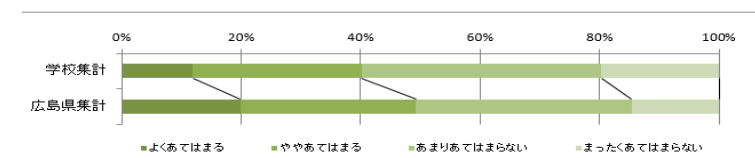
国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



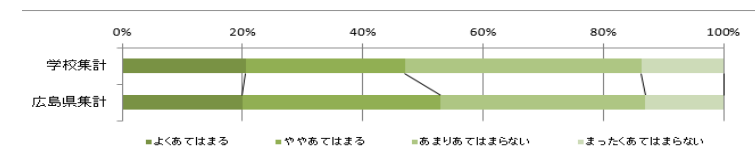
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。（よくあてはまる、ややあてはまるの計 45.3%）	・文章で取り上げられているテーマや筆者の意見について、自身または身の回りのことを振り返り（必要に応じて調査をし）ながら自分なりの意見を持たせる。意見は書く・話す活動を通じて整理・交流させる。	1年・2年	60%	生徒アンケート	学年末		
数学	数学の授業では、自分の解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。（よくあてはまる、ややあてはまるの計 50.5%）	・ペアでの教え合いを行うなど、説明する活動を増やす。 ・発表の際、答えのみでなく、何故そうなるのか理由も説明させる機会を増やす。	1年・2年	60%	生徒アンケート	学年末		
理科	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。（よくあてはまる、ややあてはまるの計 40.2%）	・ノートの左の欄に自分の考えや気付きをメモするよう指導しているが、そこを授業中に交流したりする取り組みを増やしていく。	1年・2年	60%	生徒アンケート	学年末		
英語	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。（よくあてはまる、ややあてはまるの計 47.0%）	・まとまった量の英語を聞いたり、読んだりする活動を仕組み、その際にメモの取り方の指導、ペアでの共有を行う。 ・本文の読解のあとにそれについて感想や意見を書く活動を行う。	1年・2年	60%	生徒アンケート	学年末		